

■豪州：洪水被害を受けて CCS や再エネ関連予算の削減を検討へ

ジュリア・ギラード豪州首相は 2011 年 1 月 27 日、同国北東部で発生した大規模洪水被害を受け、復興費用を捻出するために年間 5 万豪ドル超の所得者を対象とした 1 回限りの暫定的な税金の導入を検討していると発表した。復興費用は総額 56 億豪ドル（約 4,600 億円）と見込まれ、同税により、18 億豪ドル（約 1,500 億円）の税収が見込まれている。残る 38 億豪ドルについては、現在の連邦予算から捻出し、CO₂回収・貯留（CCS）技術の開発や太陽光発電の導入促進に向けた予算から引き当てられると見られる。